

# 新型コロナウイルス感染症に係る罹患後症状（いわゆる後遺症）実態把握調査結果【概要版】

## 1 調査の目的

新型コロナウイルスに感染し、回復した後も罹患後症状（いわゆる後遺症）として、様々な症状が見られる場合があるが、診断や治療の方法は確立されていない状況にある。

愛知県では、罹患後症状に悩む県民の実態及び医療機関での外来対応の実態を把握することを目的として、本調査を実施した。

## 2 調査の概要

調査期間：2024年6月26日（水）～7月26日（金）

調査方法：愛知県電子申請・届出システム（Web フォーム）

### 【県民向け調査】

対象者	全ての県民
回答数	3,037人

### 【医療機関向け調査】

対象者	全ての県内医療機関（約5,100）
回答数	509医療機関

（回答者内訳）  
10歳未満～20代：190人（6.25%）  
30代～40代：1,213人（39.94%）  
50～60代：1,459人（48.04%）  
70代以上：166人（5.47%）  
その他（答えたくない、無回答）：9人（0.3%）

## 3 調査結果まとめ

### 【県民向け調査】

#### （1）後遺症の経験者（調査結果 P11、18、26、問1、問8、問13）

今回の調査は、対象者を後遺症の有無に係わらず、誰でも回答できるアンケートによる手法であり、感染者のうち、約60%が後遺症を経験していると回答があった。

これは、感染者の10～20%が後遺症を発症するとしている世界保健機関（WHO）のこれまでの蓄積されたデータより大きく上回っているが、後遺症実態調査として行ったため、後遺症のある方が回答する割合が高くなる傾向が生じたものと推察される。

また、後遺症の症状の有無を性別で比較したところ、男性より女性の方が後遺症を発症する割合が統計的に高い結果となった。

#### （2）後遺症の症状の傾向（調査結果 P22、23、24、25、問12、問13）

特に強く出た（出ている）3つの症状及び該当する全ての症状ともに、倦怠感、せき、のどの痛み・不快感・声がれ、味覚障害の順番が多かった。

また、特に強く出た（出ている）症状と既往歴・基礎疾患を比較したところ、肥満（BMI30以上）は、後遺症を発症する割合が男女ともに、統計的に高い結果となった。

#### （3）後遺症の継続期間（調査結果 P27、問14）

約半数の方が「2か月以上6か月未満」であったが、1年以上継続する場合も約3割みられた。

#### （4）後遺症に対する不安や悩み（調査結果 P18、29、問8、問16）

後遺症の経験者のうち、「体調の回復や健康面」の回答が約75%と最も多かった。

### 【医療機関向け調査】

#### （1）後遺症の対応状況（調査結果 P40、問1、問2）

回答のあった医療機関のうち、県 Web ページ掲載医療機関が95機関、非掲載の医療機関が、414機関であった。

非掲載の医療機関のうち、175機関は、後遺症患者に対する対応を行っていた。

#### （2）受診の契機、患者への対応内容（調査結果 P41、P44、問4、問7、問8）

受診の契機は、直接来院する場合（約84%）が最も多かった。

また、患者への対応は、かかりつけ患者も含めて「自院で対応する」医療機関が約58%であり、その診療内容は、「症状に応じた薬物療法」（約48%）が最も多かった。

#### （3）自院で対応できず、他の医療機関を紹介する理由（調査結果 P45、問10）

「自院で対応できない症状であったから」（約54%）と「他疾患との鑑別が必要であったから」（約29%）が多かった。

#### （4）後遺症の診察の課題（調査結果 P46、問11）

「診療や治療方法が確立されていない」（約87%）が最も多く、次いで「社会での後遺症の理解が進んでいない」（約39%）が多かった。

## 4 課題と今後の対応

### （1）後遺症に関する知見

後遺症の症状は、倦怠感などの疲労感や、せき、息切れなどの呼吸器症状など、様々であり、病態については不明な点が多い。

現在、後遺症の治療方法や研究が国内外で進められ、厚生労働省からも後遺症に関する診療の手引きが公開されていることから、県としては、これらの積極的な情報収集に努め、医療機関に十分な情報提供を行うことで、幅広く対応できる体制を整えていく。

また、あわせて、県民が受診しやすいよう対応医療機関の Web 掲載を進める。

### （2）後遺症の社会生活への影響

後遺症に対する不安や悩みとして最も多かったのが、「体調の回復や健康面」についてであった。

また、現在の後遺症相談窓口においても、症状や治療等に関する相談が多く見受けられることから、県としては、様々な分野の相談ができるよう体制の強化を図っていく。